

歴史に関心のある市民に、市史編さんの進み具合にあわせて記録作業に協力いただいたり、古文書に触れる機会を随時設けていきます。

問 編さん委員や編集専門委員による、市民対象向けの史稿発表の場、市民フォーラムや講座を設けては。

教育長 市民の理解と協力を得るために史稿発表の場を設けることは大変有意義だと思っています。発表の開催については、新たな市史の発見や資料収集の整理がある程度できた段階で検討していきます。



佐藤 一郎

協働のまちづくり推進

問 市民協働のまちづくりにどのようなかかわってきたのか。

市長 協働のまちづくりを推進する上で、町内会等のコミュニティは、市民活動団体とともに非常に重要なパートナーであると考えています。自主防災組織、環

境美化、安全・安心のまちづくりといった上で、町内会等は非常に重要な役割を担っていただいています。



地区の運動会

全域での介護予防を

問 高齢化社会を迎え、今後ますます地域の介護予防の役割が大きいです。市内全体に広げる必要があるが、市長の考えはどうか。

市長 介護予防は非常に重要であり、できるだけ介護に陥ることがないように努力していただきたいということ、で、予防サロン等を設けています。入所施設の待機については、介護保険事業計画に一つ一つ施設等をつくるように努力していま

す。在宅介護は、介護保険の給付の中でいろいろと検討し、岩沼なりの対応をしていく必要があると思います。

問 総合窓口として市民活動サポートセンターはどのような内容を考えているのか。

市長 市民活動サポートセンターと連携方法など検討すべき点がありますので、協働のまちづくり推進会議等でご意見を頂きながら進めていきます。



須藤 功

陸上競技場の今後

問 陸上競技場の公認申請を継続しない理由は何か。

教育長 近年の利用実態を見たとき、練習としての利用であることから、第3種公認でなくとも支障がありません。二つ目は、トラック全体の老朽化と損傷が激しく、大規模改修をする場合には、その費用は1億5000万円程度必要でないかと考えています。

公認申請なぜしない

問 新総合計画には「まちづくりの課題」として書いてある。市長は議会の要望とか地域の方から要望が出て「これは総合計画にのっていませんから」とか、また、自分の施政、施策に対しては「新総合計画の通り」という話をします。なぜ陸上競技場の3種公認を取り消すのか。

市長 新総合計画をよく読んでいただきたいと思います。3種公認を継続してということは触れていないわけですが、生涯スポーツの振興、より多くの人たちに活用していただくので、必要な改修は行わなければなりません。



陸上競技場

問 市民や関係団体に確認もせず公認を一方的に継続しない理由は何か。

教育長 今回の公認期間は平成22年4月30日です。で、それを期して広報に載せる予定でした。従って、今まで載せていません。

AEDの活用



長田 忠広

問 AED（自動対外式除細動器）が設置されている公共施設で、社会教育団体として登録している方への救命講習会の実施をしていますが。

教育長 全体として取り組んだ方がいいのか、あるいは、各種団体の自主的活動を支援する方がいいのかどうかを含めて検討していきたいと思っています。

問 市営住宅へAEDを配置してはどうか。

市長 公営住宅のように多くの人が居住するところには、AEDを設置することが望ましいと考えます。岩